

茨城労働局長が「ベストプラクティス企業」を職場訪問 ～関東総業株式会社、株式会社K・Sロジテム～

澤口浩司茨城労働局長は、11月28日に「過重労働解消キャンペーン」の一環として、2024年4月から時間外労働上限規制の適用を受けるトラック運送業で、長時間労働の削減を始めとする「働き方改革」に積極的な取組を行っているベストプラクティス企業への職場訪問を行いました。

- 訪問日：令和5年11月28日（火）
- 訪問企業：**関東総業株式会社**（取手市毛有600番地）

<会社概要>

- ・業種：倉庫業、一般貨物運送事業、貨物利用運送事業
- ・設立：1971年（昭和46年）
- ・従業員：57名

<グループ会社> **株式会社K・Sロジテム**

- ・業種：一般貨物運送事業、貨物利用運送事業
- ・設立：1986年（昭和61年）
- ・従業員：22名

三ヶ日営業所（静岡県浜松市三ヶ日町）



働き方改革の取組

○静岡県に三ヶ日営業所を設置（11部屋の個室）

関東と関西方面との中間地点である静岡県浜松市三ヶ日町に、宿泊の出来る営業所を設置。

○製品のパレット化（裏面詳細）

バラであった製品の荷積み荷降ろし作業を、荷主の協力を得てパレット化したことによって、作業時間を短縮した。

○出荷オーダー日の前倒し（裏面詳細）

荷主からの出荷オーダーが、荷主の協力を得て前日から前々日に変更となったことによって、出荷オーダー確定までの待機時間を無くすことができた。

○倉庫に大屋根を設置（雨天時の作業時間が約2時間削減）

倉庫の前に大屋根を設置したことによって、天候に左右されない作業を実現できた。

○2枚差しフォークリフトの導入（裏面詳細）

倉庫作業のためのフォークリフトを2枚差しに改良したことによって、それまでと比べて2倍の荷を運搬でき、作業時間が短縮。



倉庫前に建設した大屋根の説明を受ける澤口局長（写真右側）

あわせて、夏の熱中症対策の効果も



(左写真) 静岡県浜松市三ヶ日町に中継地点として設置した三ヶ日営業所の全景



(右写真) 2枚差しフォークリフトについて社長から説明を受ける澤口局長(写真右側)

労働時間短縮のための主要な取組内容

出荷オーダー日の変更

出荷のオーダーが前日だったため、オーダー確定までの待機による、運転手、フォークリフト作業員の拘束時間が問題。



オーダーイン時間が前日から前々日に変更となったことにより、オーダー確定までの待機時間をほとんど無くすことができた。

製品のパレット化と2枚差しフォークの導入

発荷主と着荷主、それぞれの作業でバラ積みバラ降ろしを行っていた。



発荷主の荷積み作業をパレット化。着荷主においても段階的にパレット化が進んでいることにより発荷主、着荷主、双方の作業時間が短縮。また着荷主側で予約システムを導入。あわせて2枚差しフォークリフトを導入。

<取組の結果>

出荷オーダー日の前倒しによってオーダー確定までの待機時間の約4時間を削減。製品のパレット化によって荷積み荷降ろし各々で約1時間半を削減。

<労働局長のコメント>

働き方改革への対応を含めて、非常に工夫された取組だと感じました。自動車運転手の方々は、他の業種に比べても時間外労働が長い傾向にあります。県内各事業場では、いろいろな取組を進めておられることと思います。トラック運送業の労働時間削減には、荷主を含めて、関係者全体での取組が必要です。労働局としても、こうした取組について広く紹介していきます。